

第2回 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	平成27年8月18日(火) 9時00分～18時40分
開催場所	保土ヶ谷区役所2階 202会議室
出席者	〈委員〉 福田委員長、大久保委員、金子委員、小林委員、塩田委員(以上5名) 〈事務局〉 名木課長、高橋(勝)係長、川崎、高橋(友)(以上4名)
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者:1名(今井地区センター)) ※議題3以降非公開
議題	<p>1 オリエンテーション</p> <p><u><ほどがや地区センター></u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p> <p><u><桜ヶ丘コミュニティハウス></u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p> <p><u><瀬戸ヶ谷スポーツ会館></u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p> <p><u><初音が丘地区センター></u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p> <p><u><今井地区センター></u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p>

議 事	<p>1 オリエンテーション 選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について事務局より説明。</p> <p><u>＜ほどがや地区センター＞</u></p> <p>2 応募団体面接審査</p> <p>(1) プレゼンテーション 応募団体によるプレゼンテーションを約 15 分実施。</p> <p>(2) 質疑応答 委員からの質疑と応募団体による応答を約 15 分実施。 主な質疑応答の内容は以下のとおり。</p> <hr/> <p>委 員：平成 23 年に法人化した際、公益社団法人の資格を取らなかった理由は何か。 応募団体：公益社団法人になると、一般社団法人よりもできる事業が限られてしまい、地域から事業の依頼があっても、受けられない可能性が出てくる。また、公益社団法人から一般社団法人に戻すのは難しい。今後、一般社団法人として実績を上げ、能力を広げたいので公益社団法人への移行をすることはできるので、今後検討していく。</p> <p>委 員：「子どもの居場所づくり」について、将来的にどのように考えているのか。 応募団体：地区センターを、「ここで遊ぶのなら安心」という場に、地域全体で子どもを見守る場所にしたいと考えている。</p> <p>委 員：子どもの居場所として地区センターの部屋を貸していると思うが、今後も地区センターの負担でやっていくのか。 応募団体：社会福祉協議会やその他地域団体の寄付、ほつとなまちづくり助成事業費、講演料などにより運営しており、今後も協力をお願いしている。</p> <p>委 員：危機管理体制はどのようになっているか。 応募団体：地区センター単独ではなく、地域の役割と地区センターの役割を踏まえ、地域とコミュニケーションを取りながら臨機応変に対応したい。地域の防災訓練にも参加していて顔見知りの関係が築けているため、東日本大震災の際にもスムーズに行動できた。スタッフの中には民生委員や自治会役員もいる。地域との関わりのあるスタッフが潤滑油になる。震度 6 が起きた時を想定したリスクマネジメントも行っている。</p> <hr/> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>(1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。</p> <p>(2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5 年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。</p> <p>(3) 提案内容について委員による意見交換を実施。</p> <p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の体制がしっかりしている印象である。 ・出前講座や商店街とのコラボレーション事業等は今後も継続してほしい。
-----	--

- ・これまでの運営実績を見ると、安定はしているが、マンネリ化している。危機意識をもった運営が必要である。満足度調査で満足度が70%とあるが、100%に近づける努力をしてほしい。
- ・稼働率、利用者数が微減しており、現状維持に留まっているように感じる。

4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果、750点満点中549点となり、最低基準点(435点)も満たしているため、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定した。

<桜ヶ丘コミュニティハウス>

2 応募団体面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：現在、利用者はリピーターが多いのか。

応募団体：ヨガや子育てサロン等を開催すると、新規利用者が参加する。最近、近隣にマンションができたため、新規利用者が増加した。

委員：コミュニティカレッジの具体的な内容はどのようなものか。

応募団体：コミュニティカレッジは、得意分野や専門知識を持った地域の方が講師となり、自主事業を行う仕組みで、団塊世代の方が知識を下の世代に広げていくことを狙いとしている。PR方法が重要となるが、既存のホームページを再構築し、受講者や講師を募集しやすい環境を作る予定である。

委員：経費削減について、最低賃金で働いているスタッフがいるが、これについてどのように考えているか。

応募団体：利用者の理解を求めながら、光熱水費の削減等も実施し、人件費等に充てていきたい。

委員：ビブリオバトルや図書コンシェルジュ等の取組は良い。ビブリオバトルは、今後、小学生から大人に広げていくのか。また、コンシェルジュと司書の違いは何か。

応募団体：ビブリオバトルについては今夏開始するので、様子を見て今後検討していきたい。コンシェルジュについては、貸出履歴からおすすめの本を紹介する等、司書のように受け身ではない対応を行う。

委員：限られた予算内で魅力ある図書を購入していく工夫はあるか。

応募団体：新刊図書をすぐに購入するのではなく、中央図書館の「予約の多い本50」でニーズ把握を行い、優先的に購入するようにしている。

委員：利用者等からの本の寄贈について検討しているか。
応募団体：桜まつり等、人が多く集まる機会に蔵書交換会等を検討している。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。
- (2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。
- (3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・図書機能が充実している点は良いが、青少年図書館からコミュニティハウスに転換したことの意義は何か。図書以外の特色づけも必要ではないか。
- ・予算が少なく制約も多い中、運営に対する努力は見られる。
- ・青少年図書館だった頃の運営と比較すると良くなっている。

4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果、700点満点中501点となり、最低基準点(405点)も満たしているため、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定した。

<瀬戸ヶ谷スポーツ会館>

2 応募団体面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：今後、瀬戸ヶ谷スポーツ会館をどのように発展させていきたいか。

応募団体：子育て支援や高齢者の健康維持の拠点として発展させ、近隣にある自治会館を活用して、出張講座等の実施も検討している。

委員：現在の稼働率はどれくらいか。

応募団体：60%ほどである。

委員：勤務体制が1名のみとのことだが、非常時に危険ではないか。

応募団体：団体としても2名以上の体制を取りたいが、区の仕様に基づいていて、現在の予算内では一人体制が限界である。ただし、スタッフ6名のうち3名は近隣住民であり、緊急時には即座に参集できるような体制を取っている。

委員：立地を見ると、保土ヶ谷区のほかにも南区の利用者も多いが、広報等についてどのように考えているのか。

応募団体：ホームページのアクセスが多いので、さらに充実させることを考えている。

委員：予算等の制約がある中で、運営について周辺の連合や自治会等との連携は考えているか。

応募団体：連合町内会長は協力を積極的であり、今後、地域ぐるみで相乗効果が図れるよう連携していきたい。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。
- (2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。
- (3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・予算や施設の規模が小さく、できることも限られるが、工夫した運営を行っている。
- ・現状、提案ともにスタッフが1名体制となっているが、緊急時には危険である。常時2名以上の体制が望ましいが、現状では予算が少なく、実現できないため、指定管理料の見直しが必要ではないか。区とも相談して検討するべきである。

4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果、700点満点中494点となり、最低基準点(405点)も満たしているため、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定した。

<初音が丘地区センター／一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会>

2 応募団体面接審査

- (1) プレゼンテーション
応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。
- (2) 質疑応答
委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。
主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：認知症サポーター養成講座とはどのようなものか。

応募団体：認知症とは何か、自分があてはまっていないか、認知症の方に出会った際に何をすればよいのかを学ぶ講座で、地域住民が互いに助け合いながら地域力を上げていくための事業である。実施した講座には、50代～90代の幅広い年代の方が参加している。

委員：地域住民の利用が70%で、増加が見られない。また、稼働率も低いので、最低でも50%に上げる努力が必要である。遠方からでも来たいと思える事業展開等、どのように利用促進を考えているのか。

応募団体：高齢化が進行しているため、団塊の世代を対象とした事業の実施等により、稼働率50%を超えられるよう利用促進を図っていきたい。

委員：運営にかかわるボランティアやスタッフをどのように養成していくのか。
応募団体：地域の方で運営に関わってくれる方の能力開発、養成を行っている。

委員：利用してもらえるためのきっかけや仕掛けづくりが大切だと思うが、何か考えているか。
応募団体：今回提案したレコード café は、市の研修で取組が紹介され、今井ケアプラザで実施されていたものを地区センター版にアレンジして企画した。どの世代でも来てもらえる、出会いの場の創出につながるように考えている。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。
- (2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。
- (3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・稼働率は部屋、時間によって差があるので分析が必要だが、50%以上を目指してほしい。
- ・地域住民の利用がほとんどであるので、新規利用者の取込をしてほしい。
- ・認知症の講座などはこれからも推進してほしい。

<初音が丘地区センター／株式会社ネオキャリア>

2 応募団体面接審査

- (1) プレゼンテーション
応募団体によるプレゼンテーションを約 15 分実施。
- (2) 質疑応答
委員からの質疑と応募団体による応答を約 15 分実施。
主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：事前に何度施設へ下見に行ったか。
応募団体：2度行った。昼ごろと夕方、それぞれ2時間程度下見を行った。

委員：周辺地域の特性はどのように理解されたか。
応募団体：住宅街の一角にあり、小学校、保育園が近隣にあるため、体育室や図書コーナー等、小学生の利用も多い地区センターであると感じた。しかし、近隣住宅の利用者は少ないように見受けられたので、さらに利用促進を図りたい。

委員：スタッフは貴団体が自身で手配するつもりか。
応募団体：現在のスタッフの継続雇用を考えている。また、退職を希望した場合は、自社でスタッフを手配することが可能である。

委員：内覧会への来場特典などは考えているか。

応募団体：今のところ具体的な特典は考えていない。これまで利用したことのない人がいきなり利用するとなると、費用もかかるし手続きも必要だが、内覧会という形であれば来やすいのではないかと考えている。

委員：近隣にマンションが建っているが、居住者数は把握しているか。

応募団体：把握していないが、子どもや若い世代も多いと思うので、図書ポイントカードを作成して施設や図書への関心を高めてもらうなどの工夫をしていきたい。

委員：施設管理の経験が少ない分、ノウハウや実績のある他団体・企業と連携した提案は考えなかったのか。

応募団体：市内企業に協力要請している。

委員：再委託先には、何をどのように委託するのか。

応募団体：市内中小企業を活用し、設備メンテナンス・清掃を委託することを考えている。

委員：自主事業の計画書は何を参考にしたか。

応募団体：自社が管理運営している、他都市の指定管理の提案を参考に、作成している。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。
- (2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。
- (3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・参入への意欲は評価できる。
- ・経験がない分、もう少し具体的な事業計画の提案があると良かった。

4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会が750点満点中545点、株式会社ネオキャリアは725点満点中400点となった。最低基準点(435点)を満たしている、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定した。株式会社ネオキャリアは最低基準点を満たしていないため、次点候補者とはしなかった。

※ 現指定管理者は実績評価を含めた合計点による。

<今井地区センター／一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会>

2 応募団体面接審査

- (1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約 15 分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：今井地区センターは不便な場所にあるが、近隣のマンションの利用者が多いので、活用するようにPRしてはどうか。

応募団体：当協会が管理している区内の他施設と連携を図りながら、今井地区センターを支援する体制を構築していきたい。

委員：10 年前まで今井地区センターの管理を行い、他社に替わってしまったが、その一番の原因は何か。また、貴団体の強みは何か。

応募団体：10 年前までは館長が市職員のOBであり、区民主体の運営ではなかった。現在はOBではなく、団体内部から昇任して館長になっており、様々なネットワークの構築が図れ、組織力が生まれた。強みは、当協会でもホームページを活用した新しい展開ができるようになったことである。

委員：災害時の対応について、提案のものが実行できるのか。

応募団体：一年目からすぐにはできないかもしれないが、早急に地域との関係を築きたい。4月1日からではなく、指定候補者に決まった時点で、最初の重点事項として準備を開始したい。他施設の管理を行っているので、ノウハウはある。

委員：防災備蓄等を自分たちで賄うことはできるのか。

応募団体：地区センターは帰宅困難者分の備蓄しか持っていないが、地域防災拠点が使えなくなった時に移動する等の事態が起こりうるため、地域と連携して対応していきたい。

委員：今井地区に関して、高齢者の割合など、10 年前から変化したことは何か。また、それに対してどのような対応を考えているか。

応募団体：高齢化が進んでおり、10 年前は、50 代、60 代前半の女性の割合が多かったが、現在は 65 歳以上の女性利用者が多くなっている。65 歳以上の利用者が、自分たちの能力を地域にどのように還元することができるかということについて、取組の検討をしていきたい。また、生涯学習を充実させ、他の地区センターの利用団体にも使ってもらいたいと考えている。

委員：貴団体が運営することにより、スケールメリットがあるかと思うが、デメリットはあるか。

応募団体：ひとつひとつの施設の個性が生かせなくなるというリスクが考えられるが、それをリスクであると認識することにより、サービス低下を防止できると考えている。

3 意見交換、評価シート記入

(1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。

(2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

(3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・意欲が感じられた。
- ・個人情報管理体制が徹底されていて良い。
- ・小学生の居場所事業や読書活動推進事業の取組が良い。

<今井地区センター／アクティオ株式会社>

2 応募団体面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：親会社が100%株主なのか。親会社からの支援はあるのか。

応募団体：日常の管理運営については全てアクティオ社内で完結している。災害等の非常時には、親会社からの支援が考えられる。テントなどのレンタル業者であるので、そのような物品を優先的に供給できるネットワークがある。

委員：親会社の都合で、指定管理事業から撤退するという意思決定をされたら反対できないが、どう考えているか。

応募団体：当事業の価値については認識をしており、また、当社社長が親会社の役員なので、そのようなことはないと考えている。

委員：スタッフは近隣住民を採用しているのか。

応募団体：受付スタッフは近隣地域の方を採用している。

委員：貴社の強みはどこか。

応募団体：突出して勝っているという自信はないが、全国で運営している他施設での成功事例、失敗事例やヒヤリハットを共有しており、その母数が多い。スピード力も違う。光熱水費の削減などの困難にも対処してきた実績がある。

委員：全層化の新たなコミュニティを推進する理由は何か。

応募団体：10年前は小学生の利用者が多かったが、10年が経過し、当時の小学生が大人になると、地区センターをあまり利用しなくなり、サークルもメンバーが高齢化し、活動休止するところが出てきた。これからは、親と子ども、高齢者と子ども等、世代を超えて楽しめるようなイベントを実施しないと、利用者を増やすのは難しいのではないかと、「全層化」という考え方を打ち出している。

委員：障害者雇用の実績はあるか。

応募団体：障害者雇用については、今井地区センターでは実績はないが、会社としては、パソコンの入力作業、日常清掃など 25 名の障害者雇用を行っている。今井地区センターでも、マッチングがうまくできれば雇用していきたい。

委員：ユニバーサルデザインの広報とはどのようなものか。

応募団体：色弱の方を含め、誰でも読みやすいような配色、デザイン、掲示方法を行っている。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。
- (2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。
- (3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・稼働率を上げるための取組が具体的に提示されているのが良い。
- ・プレゼンテーションに熱意があまり感じられなかったが、提案内容は良かった。
- ・企業の考え方が運営方針に反映されているが、100%子会社であるという点が少し不安である。

<今井地区センター／住友不動産建物サービス株式会社>

2 応募団体面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約 15 分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約 15 分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：地区センターのような施設の運営実績はあるか。

応募団体：行政の施設の運営実績はないが、民間で貸室の運営に携わっている。また、体育施設の指定管理を行っている。

委員：指定管理に応募した理由は何か。

応募団体：企業の社会貢献として位置付けている。また、会社のスケールメリットを生かし、既存の事業だけではなく、指定管理施設の管理運営に挑戦している。指定管理施設の中でも、生涯学習施設は重要な施設であると認識しているため、地区センターに応募したところである。

委員：横浜を選んだ理由は何か。

応募団体：横浜支店があり、市営住宅の指定管理を 8 年間行い（都築区、緑区、青葉区）、居住環境の向上に貢献した実績があるためである。今後は生涯学習施設の管理運営に携わり、社会貢献を考えている。

委員：自主事業の実績がないが、他団体・企業との連携は考えなかったのか。

応募団体：文化施設の管理経験者とのコネクションがあり、その実績を参考にして今回の提案をしている。協力会社については、市内企業に協力依頼する。

委員：スタッフの採用について、どのように考えているか。

応募団体：現在の責任者、スタッフを引き続き積極的に採用したい。それができない場合でも、地域の方を採用したいと考えている。

委員：現在、稼働率がなかなか向上しない理由はなんだと考えるか。

応募団体：中高年層の利用者が多いため、その年代に魅力のある自主事業を実施したい。また、インターネット予約システムを導入し、中高年、青少年の利便性を向上させ、常連利用者からの口コミで利用者を増やしたいと考えている。

委員：美観向上には限度があると思うが、美観以外に何か強みはあるか。

応募団体：住友のブランド力や企業の規模が強みである。また、自主事業の積極展開（現行の4倍）により、利用率、稼働率は確実に上昇すると見込んでいる。

委員：株主構成はどのようになっているか。

応募団体：100%住友不動産である。

委員：資本金に対し、固定資産が大きい。過小資本ではないか。

応募団体：都内で親会社と共同でビル事業を行っている。親会社からの借入れで土地を購入し、建物は親会社が建設し、賃料をもらっている。この事業による土地の購入で、固定資産が大きくなっている。

3 意見交換、評価シート記入

(1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、役員現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。

(2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間
は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

(3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・現行の4倍の自主事業の提案について、現実的にすべてを実施するのは難しいのではないか。
- ・建物管理については信頼できるが、ソフト面のノウハウがないのが心配である。
- ・100%子会社であるという点が少し不安である。

4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会は725点満点中519点、アクティオ株式会社は750点満点中545点、住友不動産建物サービス株式会社は725点満点中435点となった。最低基準点(435点)を満たし第一順位となったアクティオ株式会社を指定候補者、第二順位となった一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を次点候補者として決定した。

※ 現指定管理者は実績評価を含めた合計点による。

<ほどがや地区センター>

◆ 一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会

出前講座や近隣商店街とのコラボレーション等の事業を企画している点が評価できる。地域との連携を重視していること等から、今後も安定した運営が期待できる。ただし、利用満足度が70%にとどまっている理由の分析や、新規利用者の発掘、弾力的な運営の実施など、現状維持に留まらない努力が求められる。近隣地域のほか、保土ヶ谷区全域から利用されるような施設を目指してほしい。

<桜ヶ丘コミュニティハウス>

◆ 一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会

図書コンシェルジュやビブリオバトル等、青少年図書館の転換型施設であることを生かした取組が見られる点が評価できる。また、これまでの運営実績を見ても地域に愛されてきたことが伺え、今後も着実な運営が期待できる。一方で、稼働率・利用者数の減少も見られ、利用者をどのように確保するか検討が必要。青少年図書館からコミュニティハウスに転換したことの意義を考えながら運営をしてほしい。

<瀬戸ヶ谷スポーツ会館>

◆ 一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会

施設規模や予算規模が小さいながらも、利用者増を図る事業展開が見られる点が評価できる。スタッフが1名体制の提案となっているが、緊急時の安全確保を考慮すると2名以上の体制が望ましい。今後、指定管理料の上限を上げること等を含め、区と協議し、対応の検討をしてほしい。

<初音が丘地区センター>

◆ 一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会

地域密着型の運営を行っている点や、豊富な自主事業を企画している点が評価できる。一方で、近年利用率が伸び悩んでおり、積極的な対応策が見られないので、具体的な方策の打ち出しをしてほしい。

◆ 株式会社ネオキャリア

利用率を5年間で50%まで上げる等、現状の問題点の改善策が見られる点が評価できる。一方で、計画が実行性に欠けており、具体的な方策の打ち出しが必要である。

<今井地区センター>

◆ 一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会

小学生の居場所事業や読書活動推進事業への協力等の取組が見られる点が評価できる。管理運営を行う他施設との連携等、法人としての強みを把握しており、それを生かそうという姿勢が見られるが、新しいアイデア創出の検討が必要である。

◆ アクティオ株式会社

利用促進策、目標が明確に定められており、運営に対する熱意が見られる。企業の理念を生かした運営となっている。また、全層化コミュニティの取組や地域と連携した防災・防犯体制の提案等、地域交流の場としての施設の役割を十分に理解した提案となっている。今後の利用促進、地域の活性化につなげてほしい。

	<p>◆ 住友不動産建物サービス株式会社</p> <p>建物の管理運営に関して、優れたシステムとノウハウを有しており、ハード面での安全管理に期待ができる。一方で、自主事業の企画・実施や地域ニーズの把握等、ソフト面で具体性・実現性にやや欠ける点が見られるので、検討が必要である。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会委員名簿</p> <p>(2) 席次表</p> <p>(3) 選定委員会の進め方等について</p> <p>(4) 応募団体提出書類</p> <p>(5) 評価シート</p> <p>(6) 現指定管理者運営実績資料</p> <p>(7) 財務状況説明資料</p> <p>2 特記事項</p> <p>・ 本日の選定結果については、保土ヶ谷区長に報告後、指定候補者に通知し、保土ヶ谷区ホームページで公表を行う。</p>